

おとくにしんぶん ①

2014

http://www.otokuni-jc.org/

発行/公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目 10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集/広報渉外委員会

Contents

12月例会

2013年度
卒業式・忘年会

地域諸団体紹介



地域諸団体紹介

新年あけましておめでとうございます。今年こちらの「地域諸団体紹介」と題しまして、地域の様々な運動や活動等を行われて居られる地域の誇れる皆さま方を紹介していきたいと考えております。積極的に取材活動もしていきたい地域コミュニケーションを通じて二市一町の輪が広がればと願いますのでよろしくお願いたします。新たな地域諸団体の方へも取材していきたいので、御紹介頂ければと思います。

昨年度、二市一町の成人式・ギネスに挑戦人間空気イス・第六回桂川流域クリン大作戦・第二回激辛グルメ日本一決定戦KARA A Aーグランプリ・障がい者ワークフェア in 乙訓・ケイジャーズカップ・京都第二外環状道路開通式(にそと)・向日神社桜まつり・張るの観光まつり・向日神社例大祭・向日トリックアート商店街・ホテル観賞の夕べ・八条ヶ池周辺地区都市景観大賞・第二十九回若葉カップ全国小学生バトミントン大会・天王山「聴竹居」長岡京ミュージック商店街V.O 13・第五回長岡京竹遊び・長岡京市ガラシャ祭、取材のご協力ありがとうございました。(記事 水原年貴)

第十回乙訓地方ふるさとふれあい駅伝

十一月三十日(土)、第十回乙訓ふるさとふれあい駅伝が開催されました。当日は少し寒い中でしたが、乙訓JCMメンバーの皆さんやPTAの方々や地域の協力を得て無事に開催する事が出来ました。大山崎小学校から向日市民体育館までを子供たちが襷を繋ぎ一生懸命に走る姿を見てると自分も熱くなり「がんばれー」と応援していました。結果は長岡第四小学校が優勝となりました。来年はどこが優勝するのか楽しみです。



第十回も事故や怪我もなく終えられ、学校関係者や地域の方々そして乙訓JCMメンバーの協力のおかげです。御協力頂きましたの皆様方に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(記事 上坂彰男)

乙訓文化少年団

二〇一三年十二月十五日(日)長岡京市にある長岡天満宮にて十二月事業「餅つき・しめ縄作り、解散式」が行なわれました。まず餅つきでは子どもたちが杵を手にとり取って楽しみなながらも力いっぱいお餅をつき、そうして出来上がったお餅をいろいろな味で食べて楽しんでおりました。また新年に家に飾る為のしめ縄を作って頂きました。このような年末の風情を感じる事が年々薄れていきましたので、私たち自身も今年度を思い返し、また新年に思いを馳せる事が出来ました。最後に一年間の感謝の言葉をお伝えして、無事に二〇一三年度の乙訓文化少年団事業を終了する事が出来ました。



一年間の乙訓文化少年団事業を終え、まづなによりもお預りしている子どもたちに大きなケガが無かった事に胸を撫で下ろしました。残念ながら雨天中止の事業がありました。残念ながら雨中止の事業がありました。キャンプを始めとして概ね子どもたちにも楽しんで頂けたのではないかと思うと同時に、ほんの三時間の事業でも毎月企画する事の大変さを痛感しました。四月からは新たに二〇一四年度の乙訓文化少年団がスタートしますが、この一年間で得た経験をしつかりと次年度に引き継ぎ、さらに良い企画を考えて頂きたいと思っております。(記事 青少年育成委員会委員長 川口順也)

編集後記

本年は私たちがおとくにしんぶんを担当致します。宜しくお願い致します。

広報渉外委員会

委員長 水原年貴 編集長 中川浩司 副編集長 大塚健介
編集委員 上坂彰男 金子飛鳥 波多野裕人 中知哉

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様にあかれましては、ご家族お揃いで清々しい新年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は公益社団法人乙訓青年会議所の活動に對し多大なるご理解、ご支援を賜り、誠に有難うございます。

本年度、乙訓青年会議所は三十五年目という、節目の年を迎えさせて頂きます。三十四年間、諸先輩が地域の方々と共に「明るい豊かな社会」の実現を目指し、高い志と熱い情熱を持って絶え間なく努力してこられました。今日までの活動に対し、心より感謝をすると共に、先人の志を受け継ぎ乙訓青年

会議所が掲げる「二〇二〇年ビジョン」地球市民意識あふれる乙訓」へ向け運動を行い続ける必要があると考えております。

本年度はスローガンに「不動心！未来への原動力となれ!」、テーマに「感謝を胸に活気あふれる乙訓」を目指して一を掲げ一年間メンバー全員が一致団結し、「明るい豊かな乙訓」へ向け運動を展開して参りたいと考えております。スローガンで掲げております不動心ですが、お茶の心で知られています。「和敬清寂」という言葉から得られる不動心を表現しています。和敬清寂とは、裏表のない清らかな心で、お互いを敬い、人と人との和を通じて様々な事を実践する中で、どんな困難にも負けない揺るぎない不動の心を得られると言いう意味が含まれています。私は、まちづくり、人づくりを

その先に「明るい豊かな社会」の実現があると確信しております。三十五周年という節目の年であるからこそ、原点回帰の想いで青年会議所活動の意義を考え活動する事が、地域社会の貢献に繋がるのではないかと考えています。地域をよくする為、まちづくりの為に、まずは人づくりから、人づくりの為に、まずは我々自身が意識を高め、行動に繋げて参ります。

乙訓地域には様々なまちづくり、人づくり団体が存在し、それぞれに素晴らしい活動を展開されています。地域を発展させる為には、そんな様々な団体が力を合わせ、活動する事も大きな意味があると考えています。我々青年会議所も、地域を支える一つの団体として、様々な活動をされている地域の方々と共に、地域発展を目的に互いに切磋琢磨出来る関係を構築し、新たなネットワークを構築すべく活動して参ります。

公益社団法人乙訓青年会議所メンバー全員で理念達成に向け一年間精進して参りますので、何卒皆様には旧来に変わらぬご理解、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しく御願ひ申し上げます。

公益社団法人乙訓青年会議所
二〇一四年度理事長 田中俊幸



り、人づくりを
実践していく青
年会議所のメン
バーは、常にこ
の心を持ち続け
ながら地域の
方々と共に活動
するべきである
と考えており、